

景況調査

(平成29年1月～平成29年3月期)

平成29年1月～3月期の守山企業景況調査の結果は、次の通りである。調査結果はDI指数(景気動向指数)を用いて示している。

平成29年1月～3月期の調査結果では、売上高、業況、採算の主要3指標で前回調査より数値が低下し、資金繰りは前回調査と同じであった。

〈業況〉

業況DIは▲23.3で前回調査の▲17.7から5.6ポイント低下した。業種別では、小売業▲23.5(前回調査比+5.9)、製造業▲22.2(前回調査比▲22.2)、建設業▲18.2(前回調査比▲18.2)、サービス業▲23.5(前回調査比+1.5)、卸売業▲33.3(前回調査比+6.7)と小売業、サービス業、卸売業が上昇した。

4月～6月期見通しは全体で▲16.9であり、上昇の見

込である。

〈売上高〉

売上高DIは▲18.3で前回調査より5.6ポイント低下した。業種別では、小売業▲23.5(前回調査比▲17.9)、製造業0.0(前回調査比±0.0)、建設業▲9.1(前回調査比±0.0)、サービス業▲29.4(前回調査比+5.9)、卸売業▲16.7(前回調査比▲16.7)であり、サービス業だけが上昇した。

4月～6月期見通しは全体で▲18.6となっており、低下の見込である。

〈採算(経常利益)〉

採算(経常利益)DIは▲26.7で前回調査より9.2ポイント低下した。業種別では、小売業▲29.4(前回調査比▲1.6)、製造業▲11.1(前回調査比▲11.1)、建設業▲27.3(前回調査比▲17.3)、サービス業▲29.4(前回調査比▲5.9)、

卸売業▲33.3(前回調査比▲13.3)で全ての業種で低下している。

4月～6月期見通しは全体で▲32.2であり、今回調査実績から低下している。

〈資金繰り〉

資金繰りDIは0.0で前回調査と同じであった。業種別では小売業▲5.9(前回調査比▲0.3)、製造業▲12.5(前回調査比▲12.5)、建設業0.0(前回調査比▲9.1)、サービス業7.7(前回調査比+7.7)、卸売業16.7(前回調査比+16.7)であった。

4月～6月期見通しは全体で▲7.3であり、今回調査実績から低下している。

〈その他の意見〉

従来の仕事では成長構造が確保できないため、違う分野の仕事を確認しないと成長を維持することができない時代である。また、少量多品種生産の対応や品質のための人的資源、機械、OAなどの合理化が必要である。

